

不易流行 恩送り

ライオンズクラブ国際協会 335-D

# キャビネット通信

DISTRICT 335-D



熱く・明るく・楽しく

2024年1月

本キャビネット通信は不定期発行です

号外!!

2023年~2024年

本通信は情報の伝達のために発行しております。内容詳細やガバナーの想い、ガバナーの熱意については、担当ゾーン・チェアパーソンからお受け取りください。

## 能登半島地震災害に対して

governor elect 廣田 晃一からのメッセージ

2024年1月1日 新年を迎えたばかりの日本列島に衝撃が走りました。能登半島を中心とした日本海側をマグニチュード7.6の地震が襲い、今現在も厳しい被害状況が刻々と報告されていますが、地理的条件も重なって、すぐには被害の全容が見えにくい状況であることが、この震災の大きな特徴と言えるかも知れません。被災地域の皆さま、そして、直接的 間接的に影響を受けられた皆さまには心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲者の皆さまには謹んでお悔やみ申し上げます。

同日中に現地早朝ニュースでこの災害を知ったブライアン・シーハンLCIF理事長は、被災地域に向け力強い支援のメッセージを発信するとともに10万ドルの大災害復興支援交付金(CAT23828/334)も正式に承認されました。幸いにも当該334-D地区ガバナーのL小出とは連絡が取れましたが、彼自身も状況把握および収集に忙殺されている状況であり、現時点では軽々に問い合わせする事がはばかれる状況でしたが、一方で過去に起こった災害時には外部からの救援のありがたさと、それとは裏腹に結果として迷惑行為になってしまっていた事例も沢山お聞きする中で、当地区からも「地区として何か指示はないのか?」とのお問い合わせもいただき、そのお気遣いに心より感謝しております。

335-D地区としての物資の救援等につきましては、被災地に交流クラブがお在りで被害の実情が判明している・・・などの場合、個別に各クラブでご対応いただくという判断は、それでよろしいかと思っております。釈迦に説法かも知れませんが、必要とされる場所に物資をお送りする際には、必ず内容を明記して判断しやすく、比較的新しいものや新品を、お相手の状況を十二分に配慮してお送りいただき、行動の前にはキャビネットへのご一報もお願いいたします。なお、今後現地での活動をご検討の場合、伝えられる道路渋滞の一因にならないようご配慮をお願いいたします。

1月16日夕刻現在、輪島LC総勢30名のうち15名との連絡が取れていないそうです。

335-D地区としてはアラート委員会およびLCIFと共にどのような対処を為すべきか・・・

ニーズを見極めた上で被災地域の皆様の一助となる支援を実行して参りたいと思います。また、本日334複合地区ガバナー協議会議長と334-D地区ガバナー名で「能登半島地震被災地支援のお願いと支援金口座開設」の連絡をいただきました。危急を要する支援には金銭的な援助も大切だと思っております。LCIFには能登半島地震特定災害指定寄付口座を開設しておりますので、今は「被災地に思いを寄せながら寄付をしていただくだけでも立派な支援」だをご理解賜り、皆様にご支援をお願いしたいと思っております。どうぞ、宜しくお願い申し上げます。